



小山田小学校と遊び交流をしました。(2年生)

2月5日(月)1~3限目の時間を使って、本校2年生と小山田小学校2年生が遊び交流をしました。朝の会が終わり、教室で交流の日程と所属グループの確認が終わると、水沢地区市民センターから乗り合いバスに乗って小山田小学校へと向かいました。20分ほどバスに乗って小山田小学校に到着すると、小山田小2年生の代表の子2人が出迎えてくれ、体育館へと案内してくれました。体育館では、最初に小山田小の代表の子からあいさつがあり、それぞれの学校から、学校を紹介するための3択問題を4問ずつ出しました。本校の子どもたちは「水沢音頭を踊っているグループは何でしょう?(茶葉一ズ)」「現在の体育倉庫の前に建てられていたのは何でしょう?(ウサギ小屋)」といった問題を出していました。「水沢小学校の校長先生はだれでしょう?」という問題も出されていましたが、本校3年生、5年生の担任の先生の名前を示す子もたくさんいて、ちょっと校長の知名度を上げないといけないなあと感じました。その後、メンコ、けん玉、お手玉、あやとり、コマ回しの5つについて、順番にグループで回って遊び交流をしました。けん玉では、とがった先に玉をうまくのせている子もいて、盛り上がっていました。最後は、体育館を広く使い、2つのグループに分かれてドッジボールを楽しみました。



当日は、あいにく雨の天候で、小山田小の運動場にたくさん設置されている遊具を使って一緒に遊ぶことはできませんでしたが、子どもたちは、小山田小の子どもたちと時間を一緒に過ごせたことがとてもうれしかったようでした。お別れのあいさつでは、どちらの学校も多くの子どもが手をあげ、楽しかった交流の感想を述べあっていました。

大谷選手寄贈のグローブを使っています。

2月6日(火)から学年を割り振り、子どもたちは大谷選手寄贈のグローブを使って、休み時間にキャッチボールをしています。運営委員会の子どもたちが、みんながグローブを楽しんで使えるように、朝の会の時間を使って各学級を回り、話し合っただけ決めた休み時間の使い方のルールについて話をしてくれました。キャッチボールをするために、青色とピンク色のボールを2つずつ購入しました。身体に当たってもそんなに痛くない硬さです(スポーツ店で、軟式ボールより柔らかいボールを購入しました。おもちゃのボールではないので、いい感じです)。グローブが3個しかないのですが、右利きの子が左利きのグローブをはめて左手でボールを投げたり、キャッチボールの相手の子は、グローブなしでボールを素手でキャッチしたり、それぞれが工夫をして楽しんでいました。運動場西側にある木製の投てき板にボールをぶつけ、跳ね返ってくるボールを何度もキャッチしている子もいました。



グローブとボールは写真のように青いかごに入れ、現在、運営委員会の子どもたちが毎日管理してくれています。みんなには、グローブを大切に、寄贈してくれた大谷選手が喜んでくれるような使い方をしてほしいと思います。くれぐれも勢い余って、ボールをプールに投げ込まないようにしてくださいね。

青少年のインターネット利用に係る普及啓発リーフレットについて

子どもを取り巻くインターネット利用環境は日々変化しており、こども家庭庁において、保護者に向けたリーフレット「ネット・スマホ活用世代の保護者が知っておきたいポイント ~こどもたちが安心して楽しく使うために~」が作成されました。このリーフレットでは、青少年の情報「発信」を契機とするトラブルに対する取組等の推進に着目し、自画撮り被害や誹謗中傷等への対応、フィルタリングの活用や家庭でのルール作りなどが紹介されています。



こども家庭庁からの書面に掲載されている二次元コードを掲載しますので、ぜひご覧いただき、インターネットの正しい使用方法について、ご家庭でも子どもとお話いただけたらと思います。よろしくお祈りします。(文責 北住 昌文)